

牛浜幼稚園探究活動（園内研修）

令和8年2月17日

◎振り返り（教諭どうしの意見交換）で気付いたことは？

たんぽぽ組（年少） テーマ「色」

- ・各クラスで製作の進み方時間のかけ方が違っていたので、事前に再確認すれば良かった。進め方によって製作に時間がかかるクラスもあれば、製作物を使って色の発見を楽しむことに時間をとるクラスもあることに気づいた。
- ・色の発見は製作時に楽しんでいたが、天気が曇りだったのもあり、光を楽しむ様子が多かった。
- ・今年は学年ごとに子どもたちが興味のあるテーマを選んだ。他学年の興味も知ることが出来て参考になった。

すみれ組（年中） テーマ「お茶」

- ・衛生面を考えて作ったお茶はお家で活用してもらうことにしたが、お家での様子がわからない子もいたため、園で実際に飲んだ子どもたちの感想をまとめることが出来ればよかったと感じた。
- ・また、家に持ち帰る際に、特にお茶の名前の表示をつけていなかったのも、子どもたちが振り返ることが出来、保護者の方にもどのようなお茶を選んだのか伝わるように、ダイソーなどで販売されているお名前シールにお茶の名前を記入したものを用意しておき、お茶パックは1個ずつ袋に入れ、その袋に選んだお茶のシールを貼る工夫が出来ればよかった。
- ・今回の反省から、子どもたちの気づきを引き出せるように、保育者の環境作りや活動の進め方(言葉掛けのタイミング・量・活動の流れなど)が大切だと改めて感じた。

さくら組（年長） テーマ「音」

- ・楽器作りを行ったが、導入の仕方や進め方の違いで、子どもの姿にも違いが出ることを学んだ。全てを揃える必要はないが、ねらいや最終的に目指す姿が2クラスで統一出来ると良かったと感じる。
- ・子どもの知的好奇心は些細なことでも生まれる為、子どもの意図を汲み取ったり、物や場所の確保等環境を整えたりすることが、保育者の大事な役割だということに改めて気付いた。

ばんだ組（2歳児・満3歳児クラス） テーマ「形」

- ・活動中は言葉での表現は少なかったが、活動後に製作活動や生活場面の中で、形に関する発言する姿が多く見られた。
- ・抽象的な形よりも○△□の方が発見しやすく、発言する姿が多く見られた。
- ・形の探求としては、5～10人程度での活動でなく、砂場遊びなど自由遊びや生活場面での出会いから一人ひとりの言葉を拾って広げていく方法も良いと気づいた。
- ・発達段階の幅に関わらず、全ての活動に興味を持って取り組んでいた。

◎活動を通して、今後の保育に生かせそうなこと

たんぽぽ組（年少） テーマ「色」

- ・設定した日だけでなく、普段の保育から子どもの発言、発見に耳を傾け、子どもたちが積極的に参加しやすい、発言しやすい保育内容を考えていきたい。

すみれ組（年中） テーマ「お茶」

- ・今回の活動の中で子どもたちの自由な発想・表現する力が伸びていると感じた。自分の思いを伝えることを躊躇する子もなく、自由に発言ができる雰囲気作りが大切だと改めて感じた。今後もこの雰囲気を大切にしながら、子どもたちの知的・好奇心の芽が伸びるように子どもたちへの言葉掛けの量を調節したり、内容を考えて伝えていきたい。
- ・活動の様子から子どもたちの興味関心を見極めることができていたと感じる。今後も子どもたちの声をよく拾い、活動の設定をしていきたい。各々の思いを共有する時間を今後も大切にしていきたいと思う。

さくら組（年長） テーマ「音」

- ・廃物遊びや音実験を通して音に興味を持てるようにしたが、園庭で耳を澄まして見る・雨の音を聞く等、物や環境を通してもっと簡単に身近な音を楽しめると感じた。音に気付く声かけを行う等、きっかけを与えることを日常的にしていきたい。
- ・今回音の活動を行ったが、活動の中で完結してしまっていたと感じた為、活動以外の場面でも音への興味・関心が継続するように関わっていきたい。
- ・子どもの声や気づきを拾えるようにしていきたい。

ばんだ組（2歳児・満3歳児クラス） テーマ「形」

- ・ これからも遊びや生活の場面で、子ども達の声に耳を傾け、発見と一緒に喜ぶなど共感していく。
- ・ 発見したことを伝えたいと思えるような関係性を築き、製作活動や遊びの場面で問いかけるなど、言葉での表現も促していく。
- ・ 活動を進めていく上で、子どもたちが出会うべきものに出会えるように、子どもに投げかける面と大人が整理してあげる部分を考慮して、関わっていく。